



〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1

Tel: 03-3363-7561 | Fax: 03-3363-7562 | Email: info@peaceboat.gr.jp | <http://www.peaceboat.org>

2014/10/02

日韓クルーズ「PEACE&GREEN BOAT2014」 ～原発事故とセウォル号事故の教訓を未来へ～

プロジェクト概要

●概要

ピースボートと、韓国の「環境財団」は、2005年より共同でコーディネートする船旅として、「PEACE&GREEN BOAT」を実施しています。まもなく、第7回目を迎える「PEACE&GREEN BOAT2014」(2014年10月30日(木)～11月8日(土)／計10日間)が博多港を出航します。

今回の航海には、日本から約500名、韓国から約500名が参加します。韓国、台湾、沖縄を巡る船旅を通じて、日本の東日本大震災や韓国のセウォル号事故の教訓を踏まえ、経済優先の社会から「いのち」を大切にする社会づくりへの転換を目指します。緊張が続く東アジアの情勢の中で、あらためて、歴史認識、環境問題、文化や社会についてお互いを誠実に理解し、市民同士のつながりを深め、持続可能な社会への共通の思いを育んでいきます。

●主催団体

ピースボート(日本) / 環境財団(韓国)

●期間

2014年10月30日(木)～11月8日(土) 博多発着 計10日間
(第89回ピースボート日韓クルーズ「PEACE&GREEN BOAT2014」)

http://www.peaceboat.org/voyages/89th



	日程	寄港地
1	10月30日(木)	博多(福岡)
2	10月31日(金)	釜山(韓国)
3	11月1日(土)	済州島(韓国)
4	11月2日(日)	終日クルージング
5	11月3日(月)	基隆(台湾)
6	11月4日(火)	終日クルージング
7	11月5日(水)	那覇(沖縄)
8	11月6日(木)	終日クルージング
9	11月7日(金)	長崎
10	11月8日(土)	博多(福岡)

●使用客船

オーシャンドリーム号 (MV OCEAN DREAM / 35,265トン、パナマ船籍)

●寄港地関連プログラム

1. 長崎寄港中(11月7日)船内でピースイベントを開催
ピースイベント「PEACE&GREEN NIGHT IN NAGASAKI」を開催し、東日本大震災やセウォル号事故の教訓をふまえ、経済優先の社会から持続可能な社会への道筋について考える国際シンポジウムを行います。(一般参加可能、要予約)
2. 戦争と平和について考えるプログラムを実施
歴史認識、人権、基地、核、戦争体験の継承などをテーマに、資料館の見学や、それぞれの問題に取り組む市民との意見交換等を通して、問題への理解を深めます。
また、戦後70年を目前に、いま私たちに来ることを考えます。
3. 脱原発への道筋を模索するプログラム実施
原発立地地域を訪問し、地域が抱える様々な課題について住民と意見交換を行うほか、原発事故の実情や反対運動の歩みについて学びます。一方で、自然エネルギー発電に取り組む地域を訪れ、持続可能な社会とは何か、考えを深めます。

●船内での活動

1. 国際会議「GREEN ASIA FORUM」を開催
アジア各国からゴールドマン環境賞*受賞者を招き、環境保全を目的とした国際会議を行います。なお会議の成果は、長崎寄港中に行うピースイベントにて報告します。
*ゴールドマン環境賞とは地球環境のため自然資源の保護活動をした市民活動家へ送られる賞。
昨年までに全世界で156名が受賞しており、韓国では唯一チェ・ヨル環境財団代表が受賞している。
2. 日韓市民1000人による共同宣言を発表
旅の終盤に、船旅に参加する日韓市民約1000名が、お互いを誠実に理解し、市民同士が直接に対話することの重要性などを示した共同宣言を作成します。宣言は、帰航記者会見(11月8日午後 / 博多港)にて発表します。
3. ほか、「いのち」と「安全」をテーマに、セウォル号沈没事故や原発、経済、歴史認識等様々な問題についてディスカッションやワークショップなどを行い、考えを深め、具体的な解決への道筋を模索します。

●お問い合わせ

ピースボート事務局 (野平、小鍋)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1

TEL: 03-3363-7561 / FAX: 03-3363-7562

MAIL: nohira@peaceboat.gr.jp

<http://www.peaceboat.org/projects/peacegreen/>